

## —— 安心の提供と震災からの早期復興のために ——

いわき地域復興センターは、「いわき明星大学と東日本国際大学」が連携して、いわき地域に対する震災復興活動を行う拠点として設立されました。「福島県いわき地域の大学連携による震災復興プロジェクト」をテーマとして、両大学が持ついわき地域の魅力の再生に直結する専門性を提供することで、震災からの早期復興を目指します。

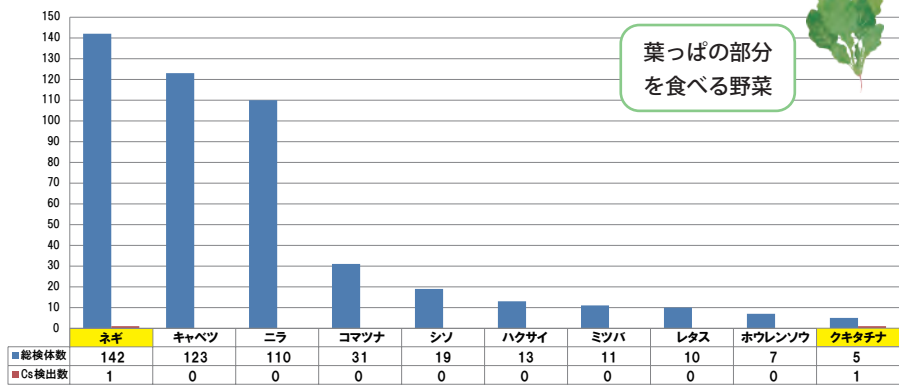
- 【事業の4つの柱】
- I 放射線・放射能測定及び軽減に関する研究事業
  - II 震災記録の保存事業
  - III 被災地の情報発信による観光まちづくり事業
  - IV 被災障がい者自立支援促進事業

## 特集 分類別 食品放射能検査結果（野菜・果物編）

いわき地域復興センターでは、いわき市による自家消費作物等の放射能検査実施施設として、これまでにさまざまな種類の作物を検査して参りました。今回は作物の種類による放射性セシウムの検出傾向を探るため、野菜と果物について食する部位により6つに分類し、検査結果を集計しました。品目については春～夏に食卓へ出される頻度の高いものをピックアップして掲載してあります。尚、集計には4月20日～8月31日に測定されたいわき市全体の検査結果を使用しております。

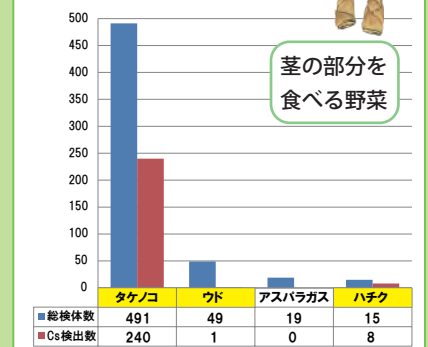
### 葉菜類

葉っぱの部分  
を食べる野菜



### 茎菜類

茎の部分  
を食べる野菜

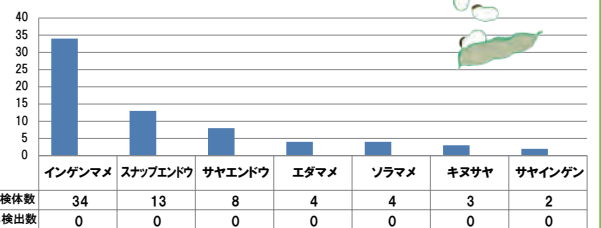


### 根菜類

根っこや地下茎の  
部分を食べる野菜

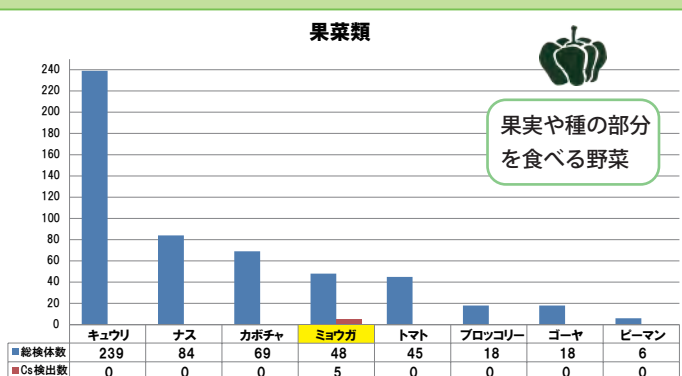


### 豆類

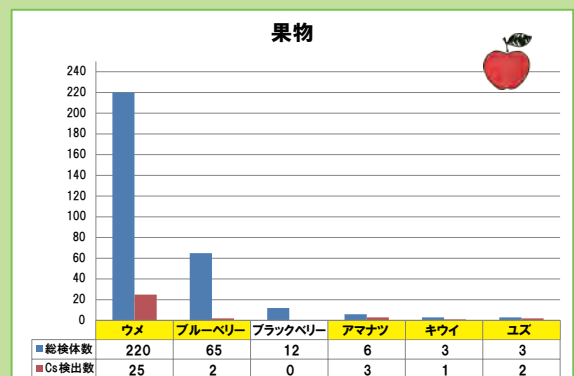


### 果菜類

果実や種の部分  
を食べる野菜



### 果物



※Cs…ここでは放射性セシウムを意味する

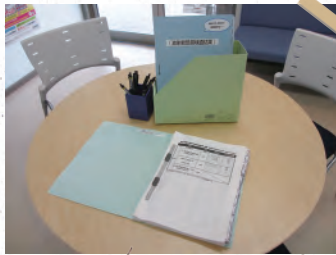
※ここではCs134とCs137を合計した値が50Bq/kgを超えたものをCs検出とする

秋の野菜や穀物についても、追ってご紹介していく予定です。

# さまざまな資料が閲覧できます



いわき地域復興センターでは、震災復興関連の資料や放射能測定結果などがゆっくりと閲覧できるスペースを設けています。その他、テレビやパネルで測定の結果を分かりやすくご覧いただけるための取り組みも行っております。どうぞお気軽に足をお運びください。



放射性セシウム検出数の多かった  
タケノコ・シイタケについては  
分布図をパネルで掲示しています。



常時テレビで食品放射能測定結  
果やミニ相談会の様子、当セン  
ターからのお知らせなどがご覧  
いただけます。



自家消費作物等  
の放射能検査の結果  
が閲覧できます。



震災復興関連の  
資料などを多数  
取り揃え、配布  
しています。

平日は朝9時～午後5時、土曜日は朝9時～午後3時  
までご利用いただけます。

## 第4回ミニ相談会 開催報告

いわき地域復興センターでは、9月19日に「放射能測定を体験してみよう!!」をテーマとして、第4回ミニ相談会を開催致しました。今回も前回に引き続き、いわき明星大学の環境放射線測定室を会場に、食品の放射能測定を参加者の方々に体験していただきました。測定に使用したのは、参加者が持参した1食分の食事で、講師の佐藤健二教授から測定の手ほどきを受け、測定用の容器に詰め替えるなどの作業を行いました。測定後は結果表の見方について説明がなされ、それについての質疑応答や身の回りの放射能に対する相談なども行われました。



測定に必要な情報を入力している様子

## 放射能 Q & A

ミニ相談会で出された質問と答えより

### 畑にゼオライトをまくのは効果的ですか？

ゼオライトには放射性セシウムを減らす効果はありませんが、吸着する効果のあるものがあり、土壌にまくことでそこで育てた作物に放射性セシウムが吸収されにくくなると言われています。ゼオライトにより放射性セシウムの作物への移行が減らせるかは現在研究が進められています。

### 洗濯すれば洋服などは除染されるのですか？

放射性物質は砂やホコリに付いて移動しますので、洋服を洗濯して水で洗い流すことで除染されます。干したあと取り込む際にも、花粉を落とす時と同じに軽く払えば十分かと思えます。

文部科学省  
平成23年度大学等における  
地域復興のためのセンター的機能整備事業

## いわき地域復興センター

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾74-8

Tel. 0246-38-7132 Fax. 0246-38-7134

URL <http://www.revive-iwaki.net/>

